

留学先大学：BESIGN The Sustainable Design School 大学

氏名：篠田泰成



今月は私が過ごしたフランスでの冬休みを紹介します。冬休みは12月19日から1月2日までの15日間です。日本と比べるとやや短く感じましたが、特に授業ごとに課題があるわけではなく、集中講義なるものもないため、自分の過ごしたいように休み期間を使うことができます。

さて、では私はその冬休みをどのように過ごしたのか。私はイタリア・パリ旅行をしました。ローマ、シエナ、フィレンツェ、ベネツィア、ミラノ、パリの大都市を北上する王道コースです。ニースからローマまではフライト時間にして2時間未満の距離にあります。これまで海外旅行した経験など一度もありませんでしたが、結果的に一切のトラブルなく終わることができました。

ここからは今後イタリアやパリを旅行する可能性のあるみなさんに向けて、私が実際に現地に行って感じたことや経験について書きます。

#### 【スリの現状】

まず初めに私はスリの被害に遭うことはありませんでしたし、その現場を見ることもありませんでした。次の事項で詳しく触れますが、持ち歩くかばんを工夫するなどして対策をすれば問題ないように感じます。細心の注意を払うことはあたりまえなのですが、旅行中そればかり気にしては楽しめるものも楽しめませんね。事前に最大限の対策を考え、それで防げないことは仕方ないと割り切って楽しむくらいの心持ちが大切だと思います。

#### 【持ち物・服装】

私が持参したかばんは2つ。1つはバックパック型の大きなもので、基本的にホテルに置いておくものです。主に着替えやお土産を入れる用途で使用しました。2つ目は肩掛けできるコンパクトなものです。こちらはスマホ、財布、パスポートなどを入れて持ち運ぶ用途で使用しました。私は小さなかばんを肩から掛け、その上からコートを羽織って前のボタンを閉めていました。ですから、コートのボタンを外されない限り中のものをするのは不可能な状態で過ごしていました。また、財布を極力

外に出さないように、スマホで電子チケットをあらかじめ用意するか、Suicaのような電子マネーカードを旅の最初に購入するなどしてしていました。食事と物品購入の際には財布を出す必要がありますが、支払い後はすぐにかばんにしまうという動作を心がけます。レストランで食事をする時は、自分の席でお会計を済ませるが多いのでその点は安心でした。コートを羽織れる季節なのであれば、私のような方法をおすすめします。

#### 【言語について】

二スでの経験から想定はしていましたが、観光客が訪れるような都市では基本全て英語で通じます。イタリア語に関しては、みなさんが常識的に知っているであろう簡単な挨拶を3つほど携えて行きましたが、なにも問題はありません。私が現地の人に自分から話しかける時は、目を見て大きな声で挨拶をします。この最初の挨拶だけは現地の言葉です。ただ、それ以降は何の断りもなく英語で会話が進みます。店員さんが English or Italian? と最初に質問してくれることも多々あったので、優しい世界だなと感じていました。

パリでも同様ですが、私の経験だとパリの人の方が少し英語に不慣れな印象を受けました。ただ、個人的には自分と近いレベルの英語を話してくれるので理解しやすく心地よかったです。

#### 【交通機関について】

まずは飛行機についてです。私はこの旅行で3回のフライトを経験しましたが、どれも"easyJet"というイギリスの格安航空を利用しました。アプリでフライトを選択して購入する。スマホのボタンひとつでチェックインができるのでそのまま進むとQRコードが表示されます。これをそのまま搭乗ゲートでかざせば、あとは荷物検査をしてそのままフライトです。私は前述したような持ち物だったので、チェックインカウンターで預け入れ荷物のために並ぶ必要すらなく、非常にスムーズでした。(おすすめをするわけではありませんが、機内持ち込みできる荷物サイズはがばがばです。表示より20cm以上大きなかばんであっても3回とも持ち込み可能でした。そもそも荷物の大きさをチェックしている様子はなかったので常識の範囲内であれば通れるようです。もちろん不安なのであれば追加料金を払うこともできます。)

電車とバスについて。これについてはGoogleでその都度調べる方法がベストです。大抵の都市ならば"ローマ バス 乗り方" "パリ 電車 チケット"などと検索すれば日本語の記事でわかりやすい解説が見つかります。事前に調べておくといいでしょう。

また、私のイメージだと電車やバスが時間通りにこないイメージがあったのですが、そんなことはなかったです。特にパリの地下鉄メトロに関しては日本となにも変わらない印象でした。

#### 【わたしは日本人です】

これは嬉しいニュースです。私がこの旅行に行ったのは2022年12月で、ちょうどカタールW杯で日本が快進撃を見せた直後でした。日本人だと言うとサッカーの話で盛り上がり、現地のサッカーフ

アンと仲良くなるきっかけになりました。お店によっては日本円にして 5000 円以上の値引きをしてくれたり、熱い抱擁を交わしたり、とてもいい思い出になりました。W 杯の話題を除いても、日本に観光に行きたいんだという人はたくさんいました。日本について興味のある人がいた時は進んでコミュニケーションをとるようにすると思わぬ旅のアクセントになるかもしれません。

### 【ちょっとしたトラブル】

正しいチケットを買ったのに改札が通れない。

Google マップで表示されていた駅が封鎖されている。

外国人からお金をせびられる。

ちょっとしたハプニングは旅にはつきものです。

どんなハプニングに遭遇したとしても、その場で柔軟に対応するほか方法はありません。避けられないようなハプニングは避けようとししないでください。どのみち避けられないのですから。どれだけ臨機応変な対応でトラブルを楽しむことができるかがその人の旅力（たびりょく）だと思っています。全てが新しい冒険だと思って思いっきり楽しみましょう。

適度にインターネットの情報と、現地の人と、自分の勘に頼ることです。みなさんの素敵な旅行を祈っています。

